

社会科（地理的分野）学習指導案

1 単元名

「世界の諸地域 アフリカ州 国際的な支援からの自立に向けて」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の地理的分野「(2) 内容 B世界の様々な地域 (2) 世界の諸地域 ③アフリカ」である。学習指導要領では、身に付ける知識として、「世界各地で顕在化している地球的課題は、それらが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なること」、「世界の各州に暮らす人々の生活を基にして地域的特色を大観し、理解すること」が挙げられている。内容の取扱では、「設ける主題については、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる事象とともに、その州で特徴的に見られる地域的課題と関連付ける」、「取り上げる地球的課題については、地域間の共通性に気付き、我が国の国土の認識を深め、持続可能な社会づくりを考える上で効果的であるという観点」と明記されている。このようなねらいを達成するために、本単元ではアフリカ州の経済発展に焦点を当てて、アフリカにおける課題とその解決の糸口を探り、考察することで、アフリカ州の地域的特色をつかませていきたい。

アフリカ大陸は南北約 8000km、東西約 7400km ほどの広大な土地が広がり、54 か国の国々がそれぞれの気候、風土に合った生活を送っている。人がたくさん住んでいるのは、北部にある世界最長の川であるナイル川河口があるエジプトや地中海沿岸地域である。また、西部のナイジェリアやガーナ、カメルーンやコートジボワールなどの大西洋に面したエリア、ケニア、ウガンダ、ルワンダ、タンザニア、エチオピアなどの東部のエリアにも多くの人が住んでおり、アフリカ大陸全土の3分の1ほどの場所に人口が集中している。赤道直下のジャングルや、世界最大の面積を誇るサハラ砂漠周辺は気温が高い。しかし、赤道直下でもルワンダの首都キガリやケニアの首都ナイロビは標高が 1500～1800m ほどの高地であり、月間の平均気温は1年中 20～22 度で湿度も高くなく、日本の東京よりも過ごしやすい気候である。

アフリカの全人口は現在約 14 億人である。医療・衛生環境が整って乳幼児の死亡率が急速に下がり、人口を養える最低限の食糧が確保できるようになったため人口は増加傾向にある。今後の世界の人口増加を支えるのはアフリカで、54 か国の総人口は 2022 年の 14 億 820 万人から、2030 年には 16 億 9,009 万人、2050 年に 24 億 6,312 万人、2100 年には 39 億 1,348 万人に増加すると見込まれている。世界人口に占めるアフリカの割合は、2022 年の 17.7%から 2030 年中に 20%を超え、2050 年に 25.4%、2100 年には 37.8%にまで達することとなる。また、人口の割合としては中位年齢（0歳から順に並べてちょうど中間となる人の年齢）が日本は 48.4 歳なのに対し、アフリカ全土では 19.7 歳（2020 年）となっている。一方、南アフリカやケニアなど豊かになって都市化が進むことで、若い世代の教育などにお金がかかったり、都市に人が集中することで適切な職が少なくなったり、スラムが発生したりと、大きな社会不安などに結び付く可能性も示唆されている。人類が誕生し、古代にはエジプト文明が栄えたアフリカでは、

16世紀以降、ヨーロッパ人との交易が始まり、1000万人以上の人々が奴隷としてアメリカ大陸へ送られた歴史がある。19世紀末までには、アフリカの大部分がヨーロッパ諸国の植民地となり、多くの国が独立する1950年代以降まで支配が続いた。その影響で、独自の言語を持つ多くの民族が暮らす中、植民地として支配した国の言語を公用語とする国が多く存在する。また、ヨーロッパの国々が、民族の分布を無視して国境線を引いたことで紛争や内戦、難民の発生などの問題が現在も残っている。また、植民地時代のアフリカでは、ヨーロッパ人がプランテーション農業を行い、アフリカの人々を労働者として働かせ、カカオや綿花、コーヒー、茶といった特定の農作物だけを栽培し、ヨーロッパなどに輸出した歴史がある。このような経済をモノカルチャー経済といい、天候や世界的な経済の状況に左右されるため、安定した収入を得られないなどの課題がある。アフリカは豊富な鉱産資源があり、これらを求めて現在は多くの国がアフリカに拠点を置き、ビジネスを始める傾向がある。

そこで、本単元はアフリカ州のタンザニアに注目して授業を行っていく。タンザニアは、東アフリカにあり、赤道の南、南緯1度～11度に位置する南半球の国で、大陸側のタンガニーカと東海岸に浮かぶザンジバルの2つの国が連合して、1964年にタンザニアとなった。北東部には、アフリカ最高峰キリマンジャロ山(5,895メートル)があり、赤道直下にもかかわらず、その頂上は氷河におおわれている。その西部には、1年に1回、大移動する何百万頭のヌーの大群で世界的に有名なセレンゲティ国立公園があり、ヌーの他にライオン、ヒョウ、ゾウ、サイなどが多く生息している。北部にはアフリカ最大の湖でナイル川の源流のビクトリア湖があり、タンザニアの中心部は、大草原と南北に連なる国立公園で占められている。タンザニアは赤道直下近くに位置しているが、高原が多く、アフリカ大陸の東海岸、インド洋に面し、温暖な気候である。現地の暑さは日光が直接照りつける暑さであって、湿度が低いので汗ばむ不快さはない。人口は6,200万人(2022年)程だが、2050年には1億4000万人と3倍近くまで急増すると予測されており、アフリカ第3の巨大市場へと成長していくことが予想されている。さらに、人口の7割を30歳未満の若年層で構成していて、今後も豊富な労働人口に恵まれている。よってGDPは労働人口が多いほど成長していくため、更なる急成長が見込まれる。タンザニアの産業において主要なものといえば、金をはじめとする鉱物産品であり、全体の約4割を占めるほどの重要性がある。鉱物産品以外の主要品目には、カシューナッツ、タバコ、サイザル麻、コーヒーなどがある。2000年以前には、綿花やコーヒーといった農産品が輸出の主力品目であったものの、現在ではタバコが輸出の5%程度を占めるのみである。よって、タンザニアの産業構造は鉱物産品が中心であり、その他の産品として農産品やサービス業がある。タンザニアが抱える問題として教育の課題がある。2001年、タンザニアは初等教育を無償化した。これにより、2009年には小学校への就学率が95%にまで上昇したが、急増する生徒数に対する教員数が追いついておらず、一人の教員が平均49人の生徒を担当しているという状態となっており、教育の質の低下が深刻な問題となっている。また、児童労働をしている子どもの割合が高くなっており、特に女子が学校に通うことができていない。女子は家庭での責任を背負わされていて、学校へ行くことよりも、早期の結婚と妊娠を期待されているからである。このような問題は、特に農村部において深刻で、小学校の中退率が高くなっている。その他にも農村部には多くの問題があり、年間を通して安全な水を利用できる世帯は14%(都市部では86%)、綺麗なトイレを使用できる世帯は17%(都市部では31%)、5歳未満時の低体重の割合は15%、消耗症(栄養不良の形態の一種)の割合は40%という現実がある。

しかし、アメリカ地質調査所によると、タンザニアの天然ガス埋蔵量は40兆立方フィートと言われており、また、隣国モザンビークにも世界最大級の天然ガス田が発見され、数年後には両国合わせた埋蔵量

は 200 兆立方フィート(推定)を超えると試算されている。この開発が進めばアフリカ最大で世界でもカタールやオーストラリアに次ぐ天然ガス輸出国となる。そうなれば、現在の鉱物産品に代わって天然ガスが主力輸出品になり、輸出での収益を大きく拡大し経済成長を強力に後押しすることになる。また、日本政府協力のもと日系企業も開発に参加し、ダルエスサラーム内や主要都市を結ぶ主な幹線道路も整備してきた。理由は、物流需要は 20 年後には更に 4 倍に達する見込みで、インフラ整備の必要性が強く提唱され始めているからである。経済成長と共に物流需要も拡大し自動車の交通量も急増していて、渋滞や過積載などの問題も出てきている。タンザニアを東西に走る「中央回廊鉄道」の再開発やタンザニア〜ザンビア間を走る「タザラ鉄道」の一部を通勤列車とし渋滞緩和に繋げる整備も進んでいる。

以上を受けて次のように単元を構成する。第 1 時では、Google フォームで確認した現段階のアフリカのイメージを共有する。そしてアフリカの国名、地形、面積、人口などをギガタブを使用して調べ、ワークシートに記入しながら全体像をつかませる。その際、アフリカが面積が広く、人口が増加していることに注目させたい。第 2 時では、タンザニアの産業を取り上げ、貧しさの理由を迫る考察をしていくことで、モノカルチャー経済をつかませ、タンザニア以外にもアフリカ全体で特定の一次産品に頼っている状況を捉えさせる。第 3 時では、前時での経済状況を農作物だけでなく、生活、医療体制、人口などの観点から考察し、アフリカ全体における課題をつかませたい。また、その課題がかつて西欧諸国の植民地であった背景に起因することを分割されたアフリカの資料を読み取る活動を通して理解させる。第 4 時では、日本を含めた世界の企業がアフリカの市場の将来性や市場規模に注目し、多くの企業が進出していることを資料を読み取る活動を通して理解させる。また、既習内容を踏まえてギガタブ SKEMENU 内の発表ノートにツールミン図式を作成させ、アフリカは今後世界の中でも大きな経済発展をして、多大な可能性を秘めているという認識をさせる。そして、本時にあたる第 5 時では、単元のまとめとして現在のアフリカでの課題解決に向けてどのような取り組みがなされるべきか、どのように解決していくかをこれまでの学習内容を踏まえて考察し、具体的な方法を Google Jamboard を用いてまとめ、意見交換をさせ、アフリカには大きな可能性が秘められていることを再確認させる。

(2) 本校の社会科研究主題との関連

本校社会科の研究主題「社会科における学力向上に向けた主体的・協働的な学習指導のあり方 ～ICTを活用した資料を読み取る活動を通して～」を踏まえ、単元における基礎的な概念や意義等の理解と定着を図り、その過程において、主体的に考察し、表現する場面を設定することで、その力を高めることをねらいとする。ICTを活用する理由として、本単元では生徒の意見の画面共有を積極的に行い、意見の交換を容易にする。また、Google フォームを活用し、自分の意見を書く、話すことが苦手な生徒も意見を出しやすくするねらいがある。

3 単元の目標

- (1) 先進国による企業進出によってアフリカで急速に経済が発展し、多くの課題を解決する糸口が模索されていることを資料から読み取ることができる。 【知識及び技能】
- (2) アフリカが抱える諸問題の解決策について授業内で活用した資料をもとに考えを深め、自分なりの意見を、活用した資料を提示しながら表現することができる。 【思考力、判断力、表現力】
- (3) アフリカ州について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色を受けて、現れ方が異なることを理解している。</p> <p>○アフリカ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。</p>	<p>○アフリカ州で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○アフリカ州について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

5 単元の学習計画（4時間扱い）

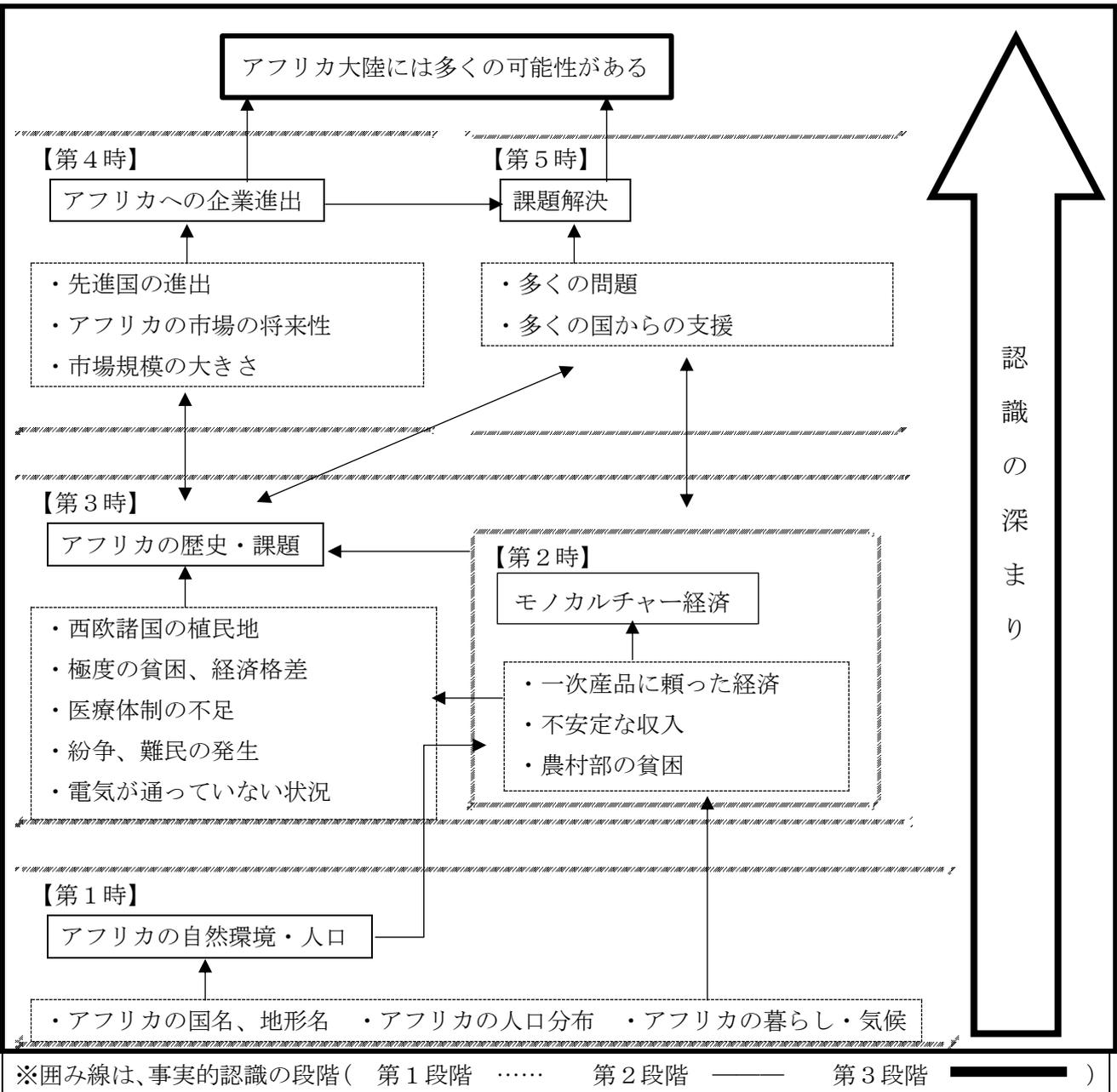
○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

時	○ねらい	主な学習内容と活動 (★ギガタブ活用)	評価の観点			評価規準
			知	思	態	
1	<p>アフリカ州をながめて</p> <p>○アフリカは、広大な面積をもち、砂漠、川、ジャングルなどの様々な自然条件があることを理解する。</p> <p>○アフリカは若い世代</p>	<p>・事前のアンケートでとった生徒たちのアフリカのイメージの確認をする。</p> <p>★アフリカ州の主な国、川、山脈を Google を使って確認をする。</p> <p>・単元を貫く学習課題を設定する。</p>	●		●	<p>●アフリカには、広大な砂漠を持つ自然、世界一長い川などがあり、様々な自然条件があることを理解する。</p> <p>●アフリカ州の学習</p>

	の人口が増えているという特色を捉える。	・アフリカの年代別人口割合の推移を確認する。				課題に対し、見通しをもって主体的に追究しようとしている。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 単元を貫く学習課題 </div> なぜアフリカ州は「地球最後のフロンティア」と呼ばれているのだろうか。					
2	アフリカの産業と新たな開発 ○アフリカではタンザニアのように、少ない種類の農作物や鉱産資源を輸出することで成り立つモノカルチャー経済により、不安定な収入しか得られない国々が多くあることを理解する。	・タンザニアは金という希少金属を多く輸出しているにもかかわらず貧しい理由を資料をもとに考え、ワークシートに記入する。 ・タンザニア以外のアフリカ諸国も同じ問題を抱えていることを輸出品目のグラフから確認する。 ・アフリカの産業の自立には国際支援が必要なことを確認する。	●		○	○アフリカ州の農業の特色や問題点を様々な資料の関連付けから読み取っている。 ○アフリカ州の産業から、国際支援が必要な背景を多面的・多角的に考察している。(ワークシート)
3	発展に向けた課題 ○タンザニアはかつて欧州の植民地であったという歴史を大観する。 ○植民地支配のなごりで、現在でも貧困、飢餓、医療体制の不足、紛争の発生などの課題が残ることを理解する。	・アフリカでモノカルチャー経済が行われている理由を前時までの内容を基に予想する。 ★タンザニアの歴史、公用語に関する資料を読み取り読みとったことを Google フォームに入力する。 ★入力された意見を共有する ・アフリカが抱える諸問題について教科書から読み取り、ワークシートに記入する。	○		○	○タンザニアの歴史を大観し、植民地支配や奴隷制度が現在の課題の起因となったことを理解している。(ギガタブ) ○アフリカ州の課題について、様々な資料から読み取り、その課題を捉え、自分なりに表現することができる。(ワークシート)
4	企業のアフリカへの進出 ○日本を含めた世界の企業がアフリカの市場の将来性や市場規模に注目し、多くの	・ワークシートの資料から、企業がアフリカに進出する理由を読み取り、ワークシートに記入する。 ★SKYMENU の発表ノートで作	○			○資料からアフリカには多くの国の企業が進出していることを読み取り、理解してい

	<p>企業が進出していることを理解する。</p> <p>○学習内容を基に、アフリカが経済発展の背景について考察させる。</p>	<p>成したツールミン図式に、アフリカが最後のフロンティアと呼ばれる背景を記入する。</p>			<p>る。(ギガタブ)</p> <p>● ●アフリカへ企業が進出する理由について、主体的に追究しようとしている。</p>
5 本 時	<p>課題解決に向けて</p> <p>○現在のアフリカでの課題解決に向けてどのような取り組みがなされるべきか、どのように解決していくかをこれまでの学習内容を踏まえて考察し、アフリカ全体の地域的特色をまとめる。</p>	<p>・既習内容を踏まえて、今アフリカで最も解決すべき問題は何かを考える。</p> <p>★Jamboard で解決策を作成し、班で意見を交換する。</p> <p>・単元振り返りシートに、単元を貫く学習課題のまとめを記入する。</p>		○	<p>○アフリカの現状を踏まえ、資料を活用しながら、課題解決に向けて自分の意見を持ち、表現している。(ワークシート)</p> <p>○ ○アフリカにおける課題の解決のために、既習内容を参考にしてどのような取り組みが必要かを意欲的に考え、学ぼうとしている。(ギガタブ)</p>

6 思考の深化に対応した単元の指導計画



7 本時の指導

(1) 本時の目標

①アフリカ州の支援が必要とされる背景を踏まえ、今後も支援策を多面的・多角的に考察し、表現する。 **【思考力、判断力、表現力等】**

②学習課題に対して、既習内容を踏まえ主体的に追究しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 展開 (5 / 5)

課程	○学習内容と課程	○教師の指導	◇評価の観点
導入 5分	<p>○前時までの内容を振り返る。</p> <p>○タンザニアの生活についての動画を見て、タンザニアの現状を再確認する。</p> <p>○学習課題を把握する。</p>	<p>○アフリカの支援が必要な現状について確認する。</p> <p>○テレビに映し、動画からどのようなことがわかるか確認させる。</p>	
	<p>アフリカの人々がより良い生活を送るためには、何が必要なのだろうか</p>		
展開 5分	<p>○アフリカで一番解決すべき問題を「貧困問題」「医療体制の不足」「インフラの未整備」のうち一つ選び、その理由をワークシートに記入する</p>	<p>○書けていない生徒にノートや単元振り返りシートを見させるなどの机間指導をする。</p>	◇アフリカ州の支援が必要とされる背景を踏まえ、今後も支援策を多面的・多角的に考察し、表現したか。(ワークシート) 【思考力、判断力、表現力等】
2分	<p>○問題を選んだ人ごとに班に分け、席を移動する。</p>	<p>○選んだ問題ごとに班が固まるように割り振りをする。</p>	

20分	○班ごとに分かれ、その問題を解決するためには、どのようなことができるのか考える。(1班4人目安) ○考えたことを班で1つの Google Jamboard にまとめる。	○実際にアフリカに支援を行っている企業などを調べさせる。 ○見やすい Jamboard のスライドを作成するよう伝える。	
12分	○班の意見を発表する。 ○他の班の発表内容をメモする。	○班の意見をまとめさせる。 ○発表者を決めさせる。 ○発表者の Jamboard をテレビに映す。 ○黒板にその意見を書く。	
まとめ 3分 3分	○班の意見と発表された意見を踏まえた上で、自分の意見を単元振り返りシートに入力する。 ○単元振り返りシートに、単元を貫く学習課題のまとめを入力する。	○ギガタブの Google ドキュメントに入力させる。	◇学習課題に対して、既習内容を踏まえ主体的に追究しようとしたか。 (ギガタブ) 【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 評価

①アフリカ州の支援が必要とされる背景を踏まえ、今後も支援策を多面的・多角的に考察し、表現したか。
【思考・判断・表現】

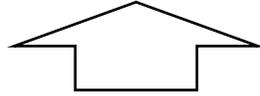
②学習課題に対して、既習内容を踏まえ主体的に追究しようとしたか。

【主体的に学習に取り組む態度】

8 思考の構造図

【事実的認識の第3段階】

現在、世界は多くの国々の企業進出により、課題の残る国々でも広大な土地と自然条件を生かし、若い世代を中心に経済、生活面での変革が起きている。



【事実的認識の第1段階・第2段階】

A アフリカは、広大な面積をもち、砂漠、川、ジャングルなどのさまざまな自然条件があるなか、若い世代が住みやすい環境で暮らしている。

- a アフリカ大陸の面積は、ユーラシア大陸に次いで大きい。
- b アフリカ北部には、世界最大のサハラ砂漠があり、砂漠の東側をナイル川が流れている。
- c アフリカの多くの人々はジャングルや砂漠地域ではない3分の1のエリアに住んでいる。
- d アフリカの人口の中位年齢は19.7歳（2020年現在）。
- e アフリカの気候は地域によってさまざまである。

B アフリカではかつて西欧諸国の植民地であった背景から、現在でも貧困、飢餓、医療体制の不足、紛争の発生などの課題が残る。

- a アフリカは19世紀末までヨーロッパ諸国の植民地であり、1950年代以降まで支配が続いていた。
- b アフリカはヨーロッパ諸国が民族の分布を無視して境界線を引いたことで、現在も紛争や内戦が続き、難民が発生している。
- c 南アフリカ共和国以外の、アフリカの多くの国々の経済は、少ない種類の農作物や鉱産資源を輸出することで成り立つ、モノカルチャー経済である。
- d 植民地時代のアフリカでは、ヨーロッパ人がプランテーション農業を行い、アフリカの人々を労働者として働かせ、カカオや綿花、コーヒー、茶などといった特定の農作物だけを栽培し、ヨーロッパなどに輸出させていた。

C 近年アフリカは最後のフロンティアとして注目され、先進国の多くの企業が進出している。

- a 人口が増加しており、市場規模が大きくなる
- b アフリカには、鉱山資源や天然ガス等の豊富な天然資源が多く眠っている
- c 経済的に未発達な地域が多く、インフラ整備や医療体制の支援をすることで

単元振り返りシート

入力例

【単元を貫く学習課題】

なぜアフリカは「地球最後のフロンティア」と呼ばれているのだろうか

【単元を貫く学習課題の予想】

- ・アフリカには砂漠が広がっていて未開拓だから
- ・貧困地域が多くこれから成長する見込みがあるから

【1時】アフリカ州をながめて	授業を通して考えたこと・感じたこと
【わかったこと】 アフリカは、広大な面積をもち、砂漠、川、ジャングルなどの様々な自然条件があるなか、若い世代が増えてきている。	
【2時】アフリカの産業と新たな開発	授業を通して考えたこと・感じたこと
【わかったこと】 アフリカではタンザニアのように、少ない種類の農作物や鉱産資源を輸出することで成り立つモノカルチャー経済により、不安定な収入しか得られない国々が多くある。	
【3時】発展に向けた課題	授業を通して考えたこと・感じたこと
【わかったこと】 アフリカではかつて西欧諸国の植民地であった背景から、現在でも貧困、飢餓、医療体制の不足、紛争の発生などの課題が残る。	
【4時】企業のアフリカへの進出	授業を通して考えたこと・感じたこと
【わかったこと】 アフリカは企業進出により、課題の残る国々でも広大な土地と自然条件を生かし、若い世代を中心に経済、生活面での変革が起き、多くの可能性を秘めている。	
【5時】アフリカの課題解決にむけて	授業を通して考えたこと・感じたこと
【わかったこと】 自分で調べたことや他の班の意見を参考にして記入する。	

① 単元を貫く学習課題の解を記入しよう！

アフリカでは、かつて西欧諸国の植民地であった背景から、現在でも貧困、飢餓、医療体制の不足、紛争の発生などの課題が残り、その課題解決に向けて先進諸国が進出してきている。現在では、企業の進出により、課題の残る国々でも広大な土地と自然条件を生かし、若い世代を中心に経済、生活面での変革が起きている

☒ a・b・c

② 単元の学習を振り返り、これからも考えていきたいこととその理由を記入しよう！

☒ a・b・c

学習課題：アフリカの人々がより良い生活を送るためには、何が必要なのだろうか

①アフリカの人々がよりよい生活を送るために一番解決しなければならないものは次のうちどれか、一つ選んだ理由を記入しよう

- | | | |
|-------|----------|-----------|
| ①貧困問題 | ②医療体制の不足 | ③インフラの未整備 |
|-------|----------|-----------|

選んだ番号【 】 理由…

②選んだ問題を解決するためにどのようなことが必要か、班の意見を記入しよう

班 の 意 見	
------------------	--

③他の班の意見を記入しよう

貧 困 問 題	
医 療 体 制	
イン フラ の未 整備	